

平成16年度 第1回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成16年10月22日(金) 金沢市役所 202会議室		
委員 (委員数3名) (出席数3名)	委員長 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 委員 春成 保(公認会計士) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授)		
次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 工事に係る入札・契約の手続きの運用状況等の報告 ① 平成16年度の発注工事について(総括) ② 発注工事に係る落札率について ③ 工事成績評点について ④ 入札参加資格停止等の運用状況について ⑤ 平成15年度本委員会からの意見及び本市における措置状況 4 報告に係る審議 5 抽出案件に係る審議 6 閉会		
審査対象期間	平成16年2月1日 ~ 平成16年9月30日		
抽出案件	9件		
内 訳	制約付き一般競争入札	2件	・金沢市立工業高等学校改築工事第1期(建築工事) ・田上館町線橋梁新設工事(上部工)
	公募型指名競争入札	2件	・春日東長江線道路築造工事(法面工事) ・寺町雨水函渠築造工事(補助)及び寺町一丁目外2町地内舗装復旧工事
	指名競争入札	2件	・寺町今町線道路築造工事(その1)及び(その2)並びに鞍月用水整備工事広坂工区(その2) ・長坂台小学校校舎耐震補強工事
	随意契約	1件	・和光の郷建設工事
	委託業務	2件	・都市基盤河川弓取川改修工事に伴う橋梁・樋管実施設計業務委託 ・平成16年度金沢市公共下水道事業臨海水質管理センター5/7系水処理施設実施設計業務委託
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	平成15・16年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
金沢市総務部監理課
電話:076-220-2101

別紙

意見・質問	回答
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 価格と技術的要素等その他の条件を総合的に判断し落札者を決定する総合評価方式への取り組みはどうか。 ○ 石川県では、県内業者を対象に、新工法・新素材の認定制度を17年度から実施することだが、金沢市での取り組みはどうか。 ○ 契約後VE方式に関し、提案実績がないことについてどう思うか。 ○ 工事1件当たりの規模の小型化等、業者にとって厳しい現状だが、市としてどう考えているのか。 ○ 指名停止になると指名回数に影響するのか。 ○ 随意契約の案件についても、工事成績の評価をしているのか。 ○ 落札率はいい方向で推移しており、この委員会の役割を技術力の評価を中心とした方向に移してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格とその他条件、いわゆる付加価値的な要素とのバランスが非常に難しく、国・石川県・先進都市の実施例を現在調査中であり、分析・参考としながら引き続き検討していきたいと思っています。 ・ コスト削減ワーキングの中で検討課題として取り上げていますが、現在のところは時期尚早と考えています。しかしながら、技術職員の資質向上につながることで、国・石川県の動きも見ながら、興味をもっていきたいと考えています。 ・ 実施開始の平成14年度から現在まで提案実績がありません。今後は本市から請負業者はもとより、業界全体にも働きかけを行いたいと考えています。 ・ 本市における発注は、ピークであった平成6年度に比べて現在は3～4割減となっておりますが、一方業者数は減少していません。今後、ただ市場原理にまかせるのではなく、発注者として技術力や経営基盤のしっかりした優良な業者の育成をしていきたいと考えています。 ・ 指名停止期間中は指名できないので、その分年間トータルとしての指名回数が減ると思われます。また、指名停止は主観点数がマイナスとなりますので、次年度以降の入札参加資格にも影響します。 ・ 契約方法を問わず、成績評価しています。 ・ 入札制度評価委員会は、金沢市の入札・契約制度のあり方を第三者として評価していただくことが趣旨であると考えています。

意見・質問	回答
<p>2 委員が予め抽出した工事に係る業者選考等の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市立工業高等学校改築工事第1期(建築工事) <p>○ この工事は3社の構成による共同企業体(JV)を入札参加資格としているが、単独発注かJV発注かの基準について教えてほしい。</p> <p>・田上館町線橋梁新設工事(上部工)</p> <p>○ この工事は、橋梁専門メーカーを対象とした資格要件となっているが、特殊な工事なのか。</p> <p>○ JVでの参加は難しいとしても、施工現場に何らかのかたちで地元業者が参加することはできないのか。</p> <p>○ 現場の施工管理に地元コンサルを活用し、地元業者の技術力の育成を図ることはできないのか。</p> <p>・寺町雨水函渠築造工事(補助)及び寺町一丁目外2町地内舗装復旧工事</p> <p>○ 資料の予想参加可能業者では、曲線推進実績がないことになっている業者がJVの代表者として入札に参加しているが、どうしてか。</p> <p>・寺町今町線道路築造工事(その1)及び(その2)並びに鞍月用水整備工事広坂工区(その2)</p> <p>○ この工事は16社指名ということだが、工事金額によって指名業者数が違うのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型工事が前提となりますが、多くの地元業者に参加していただき、複数社の技術を結集してより高度な工事にチャレンジする主旨で地元業者によるJV発注を基本としています。ただし、高いレベルの施工技術が伴う場合は、県外大手との組合せも考えられます。 ・ 橋梁の仕様については、現場の状況はもとより、景観対策やまちづくりについての提言に基づき決定されたもので、その結果専門性の高い工事となったものです。 ・ 工事内容と出資割合の関係で地元業者のJV参加は難しいと考えますが、契約の際には、下請について地元業者を活用するように努力することを求めています。 ・ 本工事の施工管理は、市職員が行いますが、設計業務委託は地元コンサルが行いました。 ・ 曲線推進実績は、本市の調査で知り得る情報で予想したものであり、実際には公募の申し込みの際に実績を確認しており、すべて実績のある業者がJVの代表者になっています。 ・ おっしゃるとおり、発注標準で金額により概ねの業者数は定めており、その内容についてもインターネットに公表しています。

意見・質問	回答
<p>・都市基盤河川弓取川改修工事に伴う橋梁・樋管実施設計業務委託</p> <p>○ 他の案件に比べ、委託金額が高い理由は何か。</p> <p>○ この委託は市内コンサルを指名しているが、地元か県外大手かの指名基準について教えてほしい。</p> <p>・平成16年度金沢市公共下水道事業臨海水質管理センター5/7系水処理施設実施設計業務委託</p> <p>○ 各参加者の入札額に開きがあるのは、どうしてか。</p> <p>○ 技術士の人数や専門分野を指名する上で考慮しているのか。</p> <p>・長坂台小学校校舎耐震補強工事 ・和光の郷建設工事</p> <p>○ 事務局の説明に対する特段の指摘事項はありませんでした。</p>	<p>・ 石川県の標準歩掛に基づいたもので、現場状況から分割とせず、一体設計とした方がよいと判断しました。</p> <p>・ その業務ができるか否かが前提ですが、地元業者への指名が基本です。対象業者が少なければ、競争性確保の点から県外大手との混合の実例もあります。</p> <p>・ 入札額については、入札時の経済情勢等によって異なるもので、その他、工事の種類・規模、難易度、落札意欲、価格競争力等の諸条件が複雑に絡み合って形成されるものと思われます。</p> <p>・ 技術者の人数と実績を総合的に判断して指名をしています。したがって、上位の業者は指名回数が多くなります。</p>
<p>3 その他の意見</p> <p>○ 優良な工事を施工した業者への評価を今後とも積極的に行ってほしい。</p> <p>○ 落札率及び工事品質が今後ともバランスよく、いい方向に向かうよう、努力を続けてほしい。</p>	<p>・ 積極的に行います。</p> <p>・ 今後とも努力します。</p>